

令和6年度 福岡支部 事業計画・保険者機能強化予算 の策定について

1. 現状の確認

1. 現状の確認（予算）

令和元年度より、広報・意見発信経費と医療費適正化対策経費を「支部医療費適正化等予算」とし、「支部保健事業予算」と合わせて「支部保険者機能強化予算」と整理された。

また、令和5年度より、エビデンスを踏まえた自支部の課題解決に向けた取組であり、かつ医療費適正化または加入者の健康増進に資する取り組みに意欲的な支部に対し、「支部保険者機能強化予算」の「通常枠」に追加して「特別枠」として予算措置されることとなった。

なお、令和6年度の特別枠予算については、令和5年度と同程度（3.44億円）とする方向で検討が進められている。

《参考：令和5年度の特別予算枠》

【特別枠の予算額（全体）】

支部医療費適正化等予算：10.0億円（対前年度+2.0億円）のうち、2.24億円を特別枠とする
支部保健事業予算：40.0億円（対前年度±0.0億円）のうち、1.20億円を特別枠とする

■ 福岡支部の保険者機能強化予算の予算枠

<令和5年度>

予算区分	支部予算枠 (千円)	
	通常枠	特別枠
支部医療費適正化等予算	30,312	7,500
支部保健事業予算	181,972	45,020
合計	212,284	52,250



<令和6年度>（見込み）

予算区分	支部予算枠 (千円)	
	通常枠	特別枠
支部医療費適正化等予算	30,312	7,500
支部保健事業予算	181,972	45,020
合計	212,284	52,250

機密性2
1. 現状の確認

< 令和5年度 支部保険者機能強化予算（区分等） >

予算区分		分野	支部予算枠（千円）	
			通常枠	特別枠
支部保険者機能強化予算	支部医療費適正化等予算	①医療費適正化対策経費	30,312 (31,250)	7,500 (-)
		②広報・意見発信経費		
	支部保健事業予算	③健診経費	181,972 (187,600)	45,020 (-)
		④保健指導経費		
		⑤重症化予防事業経費		
		⑥コラボヘルス事業経費		
		⑦その他の経費		
合計		212,284 (218,850)	52,520 (-)	

※「支部医療費適正化等予算」の「①医療費適正化対策経費」と「②広報・意見発信経費」の予算配分は支部の裁量で決定できる。

■ 支部医療費適正化等予算

分野	事業名	経費（千円）	
		通常枠	特別枠
①医療費適正化対策経費	事業所訪問等によるジェネリック医薬品等普及勸奨業務委託	7,521 (8,778)	-
	福岡労働局・福岡県・福岡市・北九州市等との共同によるメンタルヘルスセミナーの開催	456 (456)	-
	健康保険委員専用ホームページを活用した健康保険委員の活性化	0 (891)	-
②広報・意見発信経費	協会けんぽ「かへ新聞コンクール」	13,664 (13,664)	-
	紙媒体による広報 ・事業所向け納入告知書同封チラシ（4,233千円） ・任意継続等制度周知パンフレット（798千円） ・メールマガジン勸奨チラシ（一般・任職・被扶養者）（1,141千円） ・社会保険ふくおかの同封チラシ作成・同封手数料（220千円） ・協会けんぽのサービス一覧の作成（578千円）	6,970 (5,486)	-
(特別経費)			0 (-)
合計		28,611 (29,275)	0 (-)

■ 支部保健事業予算

分野	事業名	経費（千円）	
		通常枠	特別枠
③健診経費	健診予定者名簿送料	0 (40)	-
	健診実施機関実地指導旅費	300 (300)	-
	集団健診	39,892 (32,302)	-
	事業者健診の結果データの取得	29,019 (42,516)	-
	健診推進経費（強化）	10,340 (0)	-
	健診受診勧奨等経費	15,361 (16,419)	-
	④保健指導経費	中間評価時の血液検査費	11,946 (11,880)
保健指導用パンフレット作成等経費		231 (200)	-
保健指導用事務用品費（測定用機器類等）		93 (600)	-
保健指導用図書購入費		183 (149)	-
保健指導推進経費		5,018 (7,414)	-
保健指導利用勸奨経費		0 (1,400)	-
⑤重症化予防事業経費		未治療者受診勧奨	33,828 (36,973)
	重症化予防対策	15,337 (10,008)	-
⑥コラボヘルス事業経費	コラボヘルス事業（健康宣言事業）（強化）	13,972 (9,570)	-
	情報提供ツール（事業所カルテ等）	4,925 (4,125)	-
⑦その他の経費	特定保健指導該当者への健診前通知事業	0 (5,203)	-
	支部保健事業の調査分析等に係る受託研究事業	500 (500)	-
(特別経費)	喫煙対策の推進（新規）		1,100 (-)
合計		180,945 (179,599)	1,100 (-)

令和6年度事業の検討

※（ ）内は同事業における前年度（令和4年度）の予算額を掲載。

1. 現状の確認（スケジュール）

<令和6年度 支部保険者機能強化予算にかかる評議会スケジュール>

■ 10月評議会 令和6年度 福岡支部事業計画・保険者機能強化予算の策定について
福岡支部の課題を踏まえた令和6年度の重点施策等に関する検討



事務局案の作成

■ 1月評議会 支部事業計画・保険者機能強化予算（案）の提示



議論を踏まえた修正

■ 3月評議会 支部事業計画・保険者機能強化予算（最終案）の提示・承認

2. 福岡支部の課題と令和6年度 事業内容の検討

2. 福岡支部の課題と令和6年度事業内容の検討

福岡支部の重点課題

- | | | |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 1人当たり医療費（年齢調整後） <ul style="list-style-type: none"> ・R4年度：全国6位 ・特に入院医療費が全国平均より高い ・新生物による影響（寄与度）が高い ・精神及び行動の障害による影響（寄与度）が高い | <ul style="list-style-type: none"> ○ 特定健診・特定保健指導の実施率等 <ul style="list-style-type: none"> ・R4年度実施率 ・特定健診／福岡：57.1%（39位）
（国によるR6年度目標値：65.0%） ・特定保健指導／福岡：21.0%（23位）
（国によるR6年度目標値：35.0%） ・代謝リスク保有者の割合が高い ・喫煙者の割合が高い | <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療保険制度等に関する加入者理解度
＜重視したい項目＞ <ul style="list-style-type: none"> ・保険料率（インセンティブ制度等） ・コラボヘルス（健康宣言） ・健診・保健指導 ・上手な医療のかかり方 |
|--|---|--|

その他、広報・周知が必要な事項

ジェネリック医薬品の使用促進、限度額適用認定証の利用促進、正しい柔道整復のかかり方、交通事故等の第三者行為届の提出、業務災害等には健康保険が使えないこと、資格喪失（退職等）後の医療機関受診の防止

課題を踏まえた
取組の検討

令和6年度 事業内容の検討（案）

医療費適正化対策	広報・意見発信	保健事業
<ul style="list-style-type: none"> ●福岡労働局・福岡県・福岡市・北九州市等との共同によるメンタルヘルス対策セミナーの開催 継続 ●事業所訪問等による健康保険事業の包括的促進 ※令和5年度「事業所訪問等によるジェネリック医薬品等普及勧奨業務」として実施 強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●医療費適正化のための啓発事業「かべ新聞コンクール」 継続 ●紙媒体による広報 <ul style="list-style-type: none"> ・事業所向けチラシ（納入告知書同封） ・任意継続加入者向けパンフレット ・協会けんぽのサービス一覧の作成 等 継続 	<ul style="list-style-type: none"> ●特定健診・特定保健指導実施率向上のための取組 継続 ●未治療者に対する受診勧奨 継続 ●糖尿病重症化予防対策 継続 ●コラボヘルス（健康宣言事業等）の推進 継続 ●喫煙対策の推進 強化

3. 医療費適正化対策事業（案）

3. 医療費適正化対策事業（案）

案1 メンタルヘルス対策セミナー（継続事業）

加入者・事業主の関心度が高いメンタルヘルス対策に関するセミナーを開催する。

（福岡労働局・福岡県・福岡市・北九州市・飯塚市・久留米市との共催）

開催予定回数：県内4回

予算規模：50万円程度

<参考>

《令和2年度》

- 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

《令和3～4年度》

- 会場開催（県内4会場）に加え、Zoomによる動画配信を実施
- 講演内容
 - ①「コロナ禍におけるメンタルヘルス対策」
 - ②「職場内におけるこころとからだの健康づくり」

《令和5年度》

- 会場開催（県内4会場）に加え、Zoomによる動画配信を実施
- 講演内容

「職場におけるメンタルヘルス対策」

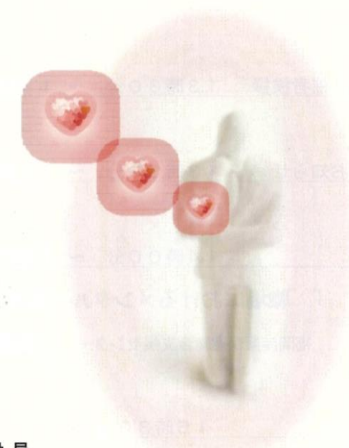
【参加者数】

令和3年度	340名（内訳：会場 96名、オンライン244名）
令和4年度	630名（内訳：会場226名、オンライン404名）
令和5年度	1,104名（内訳：会場367名、オンライン737名）

令和5年度

メンタルヘルス対策セミナー

《福岡会場》



主催

福岡労働局
 福岡県・北九州市・福岡市・飯塚市・久留米市
 独立行政法人労働者健康安全機構 福岡産業保健総合支援センター
 公益社団法人福岡県労働基準協会連合会
 全国健康保険協会 福岡支部

3. 医療費適正化対策事業（案）

案2 事業所訪問等による健康保険事業の包括的促進（強化）

事業所ごとのインセンティブ制度の評価指標にかかる実績、ジェネリック医薬品使用割合等を情報提供し、現状把握をしていただいたうえで、インセンティブ制度の周知、ジェネリック医薬品使用促進、健診受診率向上、健康宣言の基本モデル切り替え、健康保険委員委嘱拡大等を図るための文書・電話・勧奨を実施する。

※令和5年度は「事業所訪問等によるジェネリック医薬品等普及勧奨業務」として実施し、主としてジェネリック医薬品使用促進、健康保険委員委嘱拡大等を実施。

実施予定件数：電話勧奨 4,000件
電話&訪問勧奨 300件

予算規模：700万円程度

ご存じですか？健康保険料のこと

給与と明細を確認してみましょう！

健康保険料ってなに？
健康保険料は、被保険者と事業主とで半分ずつ負担します。毎月の給与や賞与から差し引かれます。40歳以上65歳未満の被保険者の方は、介護保険料も一緒に引かれます。

標準報酬月額⁽¹⁾ × 健康保険料率 = 毎月納める健康保険料
※標準報酬月額とは、毎月の給与などを平均したうえで区分した標準となる金額のことです。新卒で入社したときや1年以上勤務したときなど変更も、届け出が必要となります。

健康保険料って何に使われるの？
加入者の皆様の医療費に4割、介護費の医療費を支えるための拠出金に4割使われます。

健康保険料率はどのように決まるの？
健康保険料率は、標準報酬ごとに、「見込まれる支出」(医療費等)をどうするかによって決まります。評価がよければ標準報酬率も引き下げられます。

健康保険料率は上がり続けてしまうの？
一人あたりの医療費は年々増加傾向にあります。さらに少子高齢化により、団塊の世代がすべて75歳になる2025年には75歳以上全人口の約10%となり、後期高齢者層での大規模な増加等が見込まれます。支出が増えたと、それに伴い保険料(収入)も上がってしまいます。

医療費を上手に使う
予防・健康増進(インセンティブ制度の評価指標)に取り組み、医療費増えの伸びが抑制でき、結果的にご自身の健康維持と健康保険料率の低減へつながります。皆様一人おひとりが、できることから始めてみましょう。

詳しくは 画面へ

医療費の上昇を抑制するには？

自分の判断で次々と医療機関を変える、診察する度に切符料金・検査が厚いなど、受診にも身体にも負担がかかります。

診察料のこの月の平均は約800円、特別料金は約719円

ハンコ受診をやめましょう
診察時間外(深夜・休日等)に受診すると、診察料が高くなります。診察時間内に受診しましょう。

急病・緊急以外は、診察時間内に受診しましょう
診察時間外(深夜・休日等)に受診すると、診察料が高くなります。診察時間内に受診しましょう。

最初に相談できる近にお医者さん(かかりつけ医)をもちましょう
高度な医療を求めた大規模な「駆けつけ」を抑制する効果があります。医師に相談して、各病院が定めた特別料金が削減される可能性があります。

ジェネリック医薬品を使用しましょう
お薬をもうる場合は、積極的にジェネリック医薬品⁽²⁾を使用しましょう。ご自身のお薬の負担軽減にもつながります。

予防・健康増進(インセンティブ制度)に取り組み
5つの指標(評価指標)に基づき全受診者ランキング付けし、上位5支店については、支店ごとの順位に応じて保険料率を引き下げることができます。各社1年度(半年)の取組成果が、令和5年度(7年度)の健康保険料率に反映されます。

福留支店は 総合44位 / 47支店中
前年度の25位より順位が大層に下がりました。皆様の取組が健康保険料率に影響しますので、増進へと努力をお願いします。

5つの取組(評価指標)	令和3年度の順位	皆様へのお願い
特定健診等の実施率	42位 ↓ (前年度37位)	協会けんぽの健康診断を受診しましょう ●健康診断でがんや生活習慣病の早期発見 ●健康診断でがんや生活習慣病の早期発見 ●健康診断でがんや生活習慣病の早期発見
特定保健指導の実施率	46位 ↓ (前年度36位)	健康サポート(特定保健指導)を利用しましょう ●個別の健康、生活習慣の改善をサポート ●個別の健康、生活習慣の改善をサポート
特定保健指導対象者の減少率	32位 ↓ (前年度19位)	目標も、達成する先生活に役立つ情報を提供する ●健康的な生活を心がけ、生活習慣を改善しましょう
要治療者の医療機関受診率	39位 ↓ (前年度12位)	重症化する前に早期治療しましょう ●早期治療で重症化を防ぎ、必ず医療機関を受診してください
ジェネリック医薬品の使用率	11位 ↑ (前年度22位)	ジェネリック医薬品は、お薬の負担軽減に効果的 ●お薬の負担軽減に効果的

全国健康保険協会 福岡支店 協会けんぽ

4. 広報・意見発信事業（案）

4. 広報・意見発信事業（案）

案1 医療費適正化のための啓発事業「かべ新聞コンクール」（継続事業）

将来の健康保険制度を担う次世代層の小学5年生及び中学2年生（福岡県内全域）を対象に、健康や医療費をテーマとした「かべ新聞コンクール」を実施する。

- 小学5年生は「健康づくり」を主テーマとし、学校や家族ぐるみで健康について考えるきっかけ作りとする。
- 中学2年生は、「医療保険制度」や「医療費」を主テーマとし、制度の持続性確保のために必要な取り組み（医療費適正化等）について考えるきっかけ作りとする。
- 教育委員会の後援等をもとに、県内の小・中学校に広く広報し、応募件数の増加等を図ることで、本事業の実効性の向上につなげる。

募集対象者：約90,000人

小学5年生：約46,000人

中学2年生：約44,000人

予算規模：1,300万円程度

<第4回 健康かべ新聞コンクール 表紙>

<小学5年生>



<中学2年生>



5. 支部保健事業（案）

5. 支部保健事業（案）

案1 支部保健事業予算（案）

分野	事業名	経費（千円）	
		通常枠	特別枠
③健診経費	健診予定者名簿送料	0	—
	健診実施機関実地指導旅費	300	—
	集団健診	39,892	—
	事業者健診の結果データの取得	29,019	—
	健診推進経費	10,340	—
	健診受診勧奨等経費	15,361	—
④保健指導経費	中間評価時の血液検査費	11,946	—
	保健指導用パンフレット作成等経費	231	—
	保健指導用事務用品費（測定用機器類等）	93	—
	保健指導用図書購入費	183	—
	保健指導推進経費	5,018	—
	保健指導利用勧奨経費	0	—
⑤重症化予防事業経費	未治療者受診勧奨	33,828	—
	重症化予防対策	15,337	—
⑥コラボヘルス事業経費	コラボヘルス事業（健康宣言事業）	13,972	—
	情報提供ツール（事業所カルテ等）	4,925	—
⑦その他の経費	特定保健指導該当者への健診前通知事業	0	—
	支部保健事業の調査分析等に係る受託研究事業	500	—
(特別枠)	喫煙対策の推進	—	12,000 (1,100)
合 計		182,045	12,000

※通常枠は令和5年度予算ベースで掲載しており、経費については一定の効率化を図る。
特別枠の（ ）内は令和5年度予算ベースを掲載。

5. 支部保健事業（案）

案2 喫煙対策の推進（強化）

＜背景等＞

■健診・問診結果（喫煙者の割合）

年度	喫煙者の割合		
	全国平均	福岡	地域差指数
2020	28.6%	31.1%	0.088
2021	27.9%	30.5%	0.091
2022	27.7%	30.0%	0.083

■1人当たり医療費（年齢調整後）の地域差指数－1

年度	（総計）	（入院）	（入院外）	（歯科）
2020	0.042	0.118	0.001	0.066
2021	0.046	0.118	0.007	0.078
2022	0.050	0.118	0.018	0.069

■疾病分類別1人当たり医療費（入院）

の地域差指数－1の寄与度

年度	新生物
2020	0.032
2021	0.033
2022	0.028

■福岡支部は、喫煙者の割合が全国平均と比べて高い。

■1人当たり医療費（入院）が全国平均と比較して高く、1人当たり医療費（入院）について新生物による影響（寄与度）が大きく、新生物の中でも「気管、気管支及び肺の悪性腫瘍」の割合が全国平均より高くなっており、喫煙対策の強化が必要である。

＜今後の施策＞

■令和5年度実施の「禁煙対策」の宣言項目に取り組む健康宣言事業所の被保険者を対象とした禁煙支援プログラムの実施に加え、問診項目にて喫煙と回答した対象者（1万人程度）に対して、健診データから算出した「疾病発症確率」を搭載したオーダーメイド型の禁煙勧奨通知で禁煙を促すことで、1人当たり医療費（入院）の抑制と健康度の向上を図る。

＜予算規模＞

1,200万程度

